

フレンドシップ通信

49期

31号

発行日：2016. 9. 2

発行者：総務 松本



第31回めになるリオでのオリンピックが終わりを告げました👉

17日間に及ぶ闘いの中で、本当に多くの感動を与えてくれました。人種・国籍を超え、選手同士がお互いをたたえあう姿に、改めて、世界中の平和を祈らずにはいられませんでした。

私達の心に、口では表現しきれない・・・何かこみあげてくる熱いものを残し、選手の方々は、4年後の東京に想いを繋げる人・・・又、違う目標に想いを馳せる人と、様々でしょうか？

よ-----し！！ 私達も、がんばるぞ💡

社長からのメッセージです



リオデジャネイロ オリンピック開催 日本はメダルラッシュです。

私が、特別印象に残ったのは体操の内村航平の個人総合優勝です。誰もが信じられなかった優勝！

逆転優勝の瞬間、内村選手のお母さんの放心状態の映像が印象的でした。

でも、一緒に闘ったウクライナのベルニャエフ選手の言葉が もっと印象的で・・・スポーツっていいな～と思いました💎

試合後内村選手の会見で、記者から「わずか0.099差の勝利において、あなたは審判から同情を買ったとは思いませんか？」

の質問に、内村選手は「そんな事は全く思っていない」と淡々と答えた。その後ベルニャエフ選手が記者にかみついた

「誰でも個人感情は持っているけど、スコアの公正さは皆しってる！さっきの質問は全く意味がない！」と怒りを露わにした

そして、ベルニャエフ選手は次のような事も言っている 「航平をハラハラさせるなんて全然予想してない 僕はとても幸せなんだ！このスポーツに弱い選手なんて誰もいない 内村航平という伝説の男と僕らが闘った事実があるだけ・・・これは世界最高にクールな事だと思う 僕らは一緒に、この素晴らしいショーをやり遂げたんだ」

内村航平の勝利はもちろん称えますが、この最高の準優勝者ベルニャエフ選手には頭が下がります。そして、ウクライナという国も好きになってしまいました！ 記者の心ない問いかけには残念な思いですが・・・人って、つい人の幸せを素直に喜べないところが出てきちゃう 事の当事者ではない時には、言葉には気をつけなければいけないなあ～と感じました。

僕らの周りでも、よくそのような場面に遭遇します。

人生のすべて解かったような顔をして。。。。🙄

＊ 結婚はすべきだ

＊ 無謀な緒戦はやめるべき

＊ 無難な会社に就職すべき

なんて、いう人がいるけど人の生き方を評論しては いけないと思う。

『人の数だけ人生の形があっていい』

自分の人生の最終決定権は、自分自身が持っているから！！

人生の形に “正解” も “不正解” もない。

挑戦したかったら挑戦し、もしもダメだったら笑い飛ばせば良い

人の数だけ人生が有り、あなたがあなたの人生をどんな色に染めようと、それはあなたの自由

だから・・・人の自由を奪う言葉、それは命の時間を削る言葉なんです 殺人未遂だよ！

最近、僕の中でも気を付けている言葉があります。それは・・・「みんな一緒だから」という言葉です。

よく耳にする言葉ですよ。でも、考えてみたら、同じになる必要がどこにあるのか

みんながやるから、合わせなさい！ 違う表現だと・・・長いものには巻かれなさいってなる

僕は、うちの子にも社員様にも、そのような教育はしたくない。

各々の個性をより発揮させる事！その為の環境を創る事！

その時、互いに光り ✨

あたため輝き合うのではないかなと思う。

昔、立川談志さんという人が言った言葉で、心に響いた言葉が有ります。

『人間を一つの尺度で測ろうとする事には、無理がある。常識とか学問は、その無理を正当化しようとする』

人と、物を測る事とは 同じにしたいくはないですよ。そもそも、人を計る基準なんてものはないのですから

『真ん中も右から見れば・・・左』です

おっと👉 話がオリンピックから恐ろしくそれてしまった！

それも、個性だから まいいいか(笑)

(いいですよ👍 社長らしくて・・・by 影の声)



わが社の陽気なフラジル人
みんなに優しくて

明るく
仲間
マルコ



頼れる
なんです
・ファビア/
中野さんで～す

